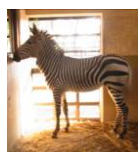


ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 26
発行日 平成24年11月8日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:24種316点
鳥類:26種133点
爬虫類:11種56点
(平成24年10月末日現在)

シマウマのオリーブが引っ越しました

2012年10月2日、ハートマンヤマシマウマのオリーブが広島県にある福山市立動物園へ引っ越しをしました。オリーブの父親、ピリーの「実家」です。

当日は早朝から、いつもと異なる飼育スタッフたちの動きに、ウマたちは少しそわそわしておりましたが、オリーブは「輸送箱」にスムーズに入り、高速道路などを走り、およそ10時間の長旅ののち、無事福山市立動物園に到着しました。すぐに新居に慣れ、餌もしっかり食べているそうです。

今回のオリーブの引っ越しは、今後繁殖し子孫を残すため、文字通りの「嫁入り」です。野生下でその数を減らしている動物種の保存のため、地道で遠回りかもしれませんが、その遺伝子を残していくことは動物園の大切な使命のひとつです。

今後、福山からオリーブの元気な様子を教えてもらうのを楽しみにしつつ、遠い異国でがんばるオリーブにエールを送り続けたいと思います。



元気でね、オリーブ

レッサーパンダ近況



▲アン(右)と子ども(左)。大きくなりました

今年6月9日に生まれ、8月半ばにその姿を初めて見せてくれたレッサーパンダの赤ちゃんは、元気にすくすく育っています。10月に入り、屋内展示場での展示を開始しました。まだ2歳の若いアンと、きょうだいのようにお互い本気で取っ組み合うようにじゃれあっています。体もどんどん大きくなり、アンに迫る勢いです。

また、竹の葉をかじってみたり、リンゴを口に入れてみたり、親の食べ物にも興味を示し始めました。

今後も名前の募集や新たな情報等については、随時お知らせしていきます。

年賀状コンクールのお知らせ

お気に入りの動物たちにメッセージを添えて、年賀状を送ってください。



★募集期間 平成25年1月1日～7日(必着)
★展示期間 平成25年1月13日～20日
★あて先 〒212-0055 川崎市幸区南加瀬1-2-1
夢見ヶ崎動物公園 「年賀状コンクール」あて
詳しくはホームページ(川崎市トップページ→市の施設→緑と公園→夢見ヶ崎動物公園)等をご覧ください。

★ピックアップ動物★

ヤギ

分類: 哺乳綱 偶蹄目 ウシ科



古くから家畜化され、乳や肉、毛や皮などを利用されてきました。その歴史は数千年とも言われています。世界中で様々な品種が飼われ、今も人間生活に深くかかわり続けています。

当園の5頭はいずれも雑種です。品種によっては角をもたないものもありますが、オス、メス問わず角とひげを持つ場合が多いです。

「紙を食べる」と信じている人もいますが、ヒトの差し出すものを食べ物と勘違いして口に入れて咀嚼するだけで、消化はできず、また、紙には植物以外の原料も含まれているためおなかを壊すこともあります。

そんなヤギのチャームポイントのひとつは、横長の瞳孔です。明るく晴れた屋間などは、横長具合が目立ちます。

獣医の日記



今回は、動物園の獣医たちが持ち歩いている「七つ道具」についてご紹介します。と言っても、この業界で「七つ道具」として決まっているものがあるわけではなく、人によって若干異なるのですが…。意外なものもあるかもしれません。

まず、カメラ。普段の様子を写真に収めるばかりでなく、治療の様子や展示場での動きのチェック、患部の記録などなど、毎日大活躍です。このような記録を残すことで、治療方針を検討したり、疾病や外傷などへの理解を深めたりして、今後の治療に役立てる努力をします。

次に、懐中電灯。けがを見つけた時など、病院に運んで治療を行うこともありますが、その場で処置を行うことも少なくありません。そんな場所での診察や、治療中の手元を照らすのに使います。また、鳥たちが産んだ卵が有精卵か無精卵か、判断するために卵の気室から中を照らしてチェックするのにも使います。

3つ目は電卓。動物に与える薬の量は、ヒトのように「1日〇回、〇錠」と決まっていません。動物種ごと、体重ごとに計算して投薬します。すばやく、そして正しく（これが一番重要！）計算するには電卓が欠かせません。

あれ、まだ3つ。では、続きは次回に…。



★動物たちの主な移動(平成24年8月1日～平成24年10月31日)★

プレーリードッグ(1死亡)、ホンシュウジカ(♀2死亡、♂1死亡)、ハートマンヤマシマウマ(♀1BL福山市へ)、キビタイボウシインコ(♂1死亡)